SBP : Small Business Package

NC1505BSS

― 資産管理型 ―

取扱説明書

2018年2月27日　第1.4a版

日栄インテック株式会社

Auto-ID グループ

目次

１．用語について……3
２．使用制限について……3
３．PC 動作環境……3
４．PC 設定……4
４-１．設定の流れ……4
４-２．「Active USB-COM ポートドライバ」のインストール……4
４-３．「NC1505BSS 受信アプリ」のインストール……4
４-４．通信モジュール使用の為のライセンス登録……5
４-５．「NC1505BSS 受信アプリ」の設定……6
５．PC 側操作……7
５-１．受信……7
５-２．HT 設定受信……8
５-３．HT 設定送信……9
５-４．ハンディプログラム更新……10
６．HT 側操作……11
６-１．基本操作……11
６-２．メインメニュー……11
６-３．データ収集……12
６-４．データ確認……13
６-５．データ送信……14
６-６．担当者設定……15
６-７．データ初期化……15
６-８．システム設定……16
６-８-１．収集設定……17
６-８-１-１．使用者有無……17
６-８-１-２．使用者：物品……17
６-８-１-３．数量……18
６-８-２．送信後データ設定……18
６-８-３．バーコード設定……19
６-８-３-１．バーコード種一覧……19
６-８-３-２．JAN13,UPC-A……19
６-８-３-３．JAN8……20
６-８-３-４．UPC-E……20
６-８-３-５．ITF (Interleaved Two of Five)……20
６-８-３-６．NW-7 (CODABAR)……21
６-８-３-７．Code39……21
６-８-３-８．Code93……21
６-８-３-９．Code128,GS1-128……22

６-８-３-１０. STF (Standard Two of Five) 22
６-８-３-１１. GS1-Databar (RSS) 22
６-８-４. 端末 ID 設定 23
６-８-５. 日時設定 23
６-８-６. 自動電源 OFF 設定 23
６-８-７. 音(バイブ)設定 24
６-８-８. 設定初期化 24
７. 販売者情報 25

1.用語について

本書に出てくる用語について、次の通り定義いたします。

「本システム」・・・NC1505BSS
「PC」・・・Windows パソコン
「HT」・・・NC1505BSS がインストールされたバーコードハンディターミナル（BHT-1500B）
「CU（クレードル）」・・・CU-AU1-15（PC と HT 間で通信するための通信ユニット）
「USB ケーブル」・・・PC と CU を接続する USB ケーブル

2.使用制限について

本システムでは、HT で収集したデータを PC に受信する為の、PC 側プログラム（NC1505BSS 受信アプリ）が付属しています。このプログラムを使用する際には、はじめにアクセスコードを登録する必要があります。
原則として、PC1 台のみがインストール可能です。但し、やむを得ない状況により、その PC での使用が不可能になった場合は、別の PC にインストールして使用することができます。

弊社から御購入いただいた NC1505BSS 用の HT には、HT 側プログラムがあらかじめインストールされ、ライセンス認証がなされています。この HT 側プログラムは、機能改善などでアップデートされた場合、PC 側プログラム（NC1505BSS 受信アプリ）から最新プログラムを送信することができますが、送信できるのは、弊社から御購入いただき、既にライセンス認証されている HT のみが対象となります。
弊社以外で購入された HT へ PC 側プログラムから HT プログラムを送信しても、その HT では NC1505BSS は動作いたしませんので、ご注意ください。

3.PC 動作環境

Microsoft Windows 7（32bit/64bit）以降
Microsoft Excel 2007 以降　※出力形式に Excel を使用する場合

4.PC 設定

本システムを稼働させるにあたり、PC 側の設定が必要になります。ここでは、その設定手順について記載します。

4-1.設定の流れ

(1) 「Active USB-COM ポートドライバ」のインストール(※導入時のみ)

(2) 「NC1505BSS 受信アプリ」のインストール(※導入時のみ)

(3) 通信モジュール使用の為のライセンス登録(※導入時のみ)

(4) 「NC1505BSS 受信アプリ」の設定(※導入時、および運用方法変更時)

※(1)～(3)の PC 作業は管理者権限にてログオンし、実施して下さい。

4-2.「Active USB-COM ポートドライバ」のインストール

HT から PC へデータを受信するために、PC と CU を接続する必要がありますが、接続する前に、HT のメーカーが用意している「Active USB-COM ポートドライバ」をインストールする必要があります。「Active USB-COM ポートドライバ」は本システム CD 内の以下のフォルダにあります。

CD:¥ ActiveUSBCOM_J20105

インストールは、同フォルダ内の「setup.exe」を使用しますが、インストール方法については、同フォルダ内にある「ActiveUSBCOM_Installation_Guide_J.pdf」を参照いただき、インストールを行って下さい。

4-3.「NC1505BSS 受信アプリ」のインストール

「Active USB-COM ポートドライバ」により物理的な接続が完了したら、次は HT から PC へデータを受信するためのプログラム「NC1505BSS 受信アプリ」をインストールする必要があります。「NC1505BSS 受信アプリ」は本システム CD 内の以下のフォルダにあります。

CD:¥ NC1505BSS 受信アプリ

(1) 「NC1505BSS_Setup.exe」を実行し、案内にしたがってインストールを完了させてください。

(2) インストールが完了すると、デスクトップ上に「NC1505BSS 受信アプリ」というショートカットができます。

※「NC1505BSS 受信アプリ」の動作には「Microsoft .NET Framework4.5」が必要になります。インストールされていない場合、自動的に「Microsoft .NET Framework4.5」のインストールも行なわれます。

※インストール中に「ユーザーアカウント制御」や「Windows セキュリティ」画面では、[はい]や[続行]など肯定応答を行って下さい。

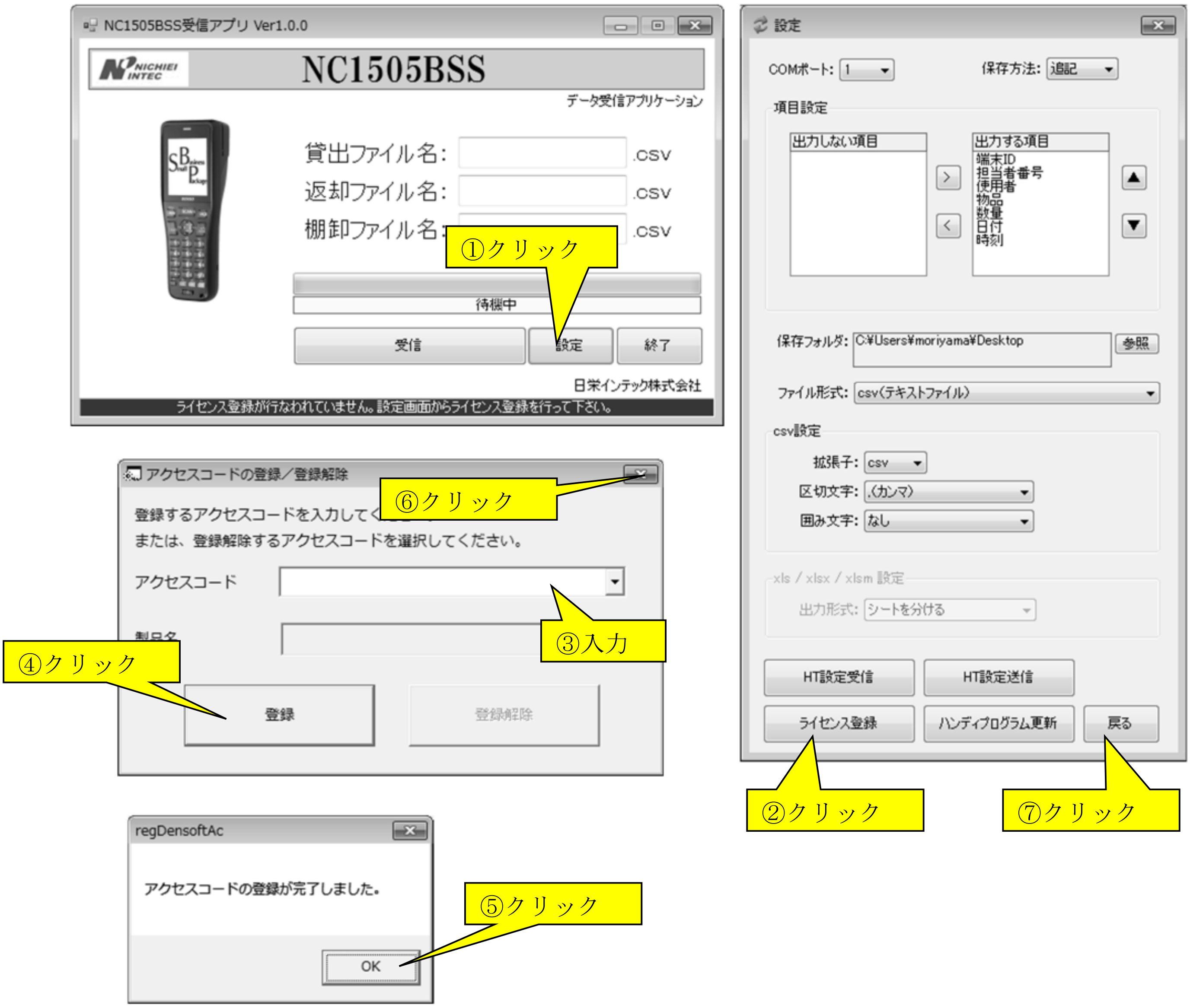
4-4.通信モジュール使用の為のライセンス登録

HT とPC 間で通信を行う場合、HT のメーカーが提供しているツールを使用します。このツール使用の為、ライセンス登録が必要となりますので、ここで登録を行います。

(1) デスクトップ上の「NC1505BSS 受信アプリ」をダブルクリックし、実行してください。まだライセンス登録が行なわれていませんので、画面下部にアラームが表示されています。[設定]ボタンをクリック(①)して下さい。
(2) 設定画面が表示されます。左下の[ライセンス登録]ボタンをクリック(②)して下さい。
※ユーザーアカウント制御画面が表示される場合は[はい]をクリックして下さい。
(3) アクセスコードに以下の値を入力(③)し、[登録]をクリック(④)してください。

アクセスコード:4964901159000390-9480353667

「アクセスコードの登録が完了しました。」という画面が出たら、[OK]をクリック(⑤)し、登録画面は右上の[×]をクリック(⑥)して閉じてください。設定画面で[戻る]をクリック(⑦)して、最初の画面に戻ると画面下部のアラームが消えたら、ライセンス登録完了です。



4-5.「NC1505BSS 受信アプリ」の設定

「NC1505BSS 受信アプリ」の設定を行います。デスクトップ上の「NC1505BSS 受信アプリ」をダブルクリックし、実行してください。その後、[設定]ボタンをクリックし、右の設定画面を表示して下さい。

COM ポート	「Active USB-COM ポートドライバ」インストールで作成された COM ポート番号を指定します。 Windows の「デバイスマネージャー」の「ポート(COM と LPT)」に存在する 「DENSO WAVE Active USB-COM Port(COM?) - Connected」 の、COM?の部分がポート番号となります。例えば、ここが「COM3」ならば、ここでは「3」を設定します。
保存方法	指定されているファイルが既に存在する場合に、追記するか上書きするかを設定します。
項目設定	出力する項目を選択します。デフォルトでは全てを出力する設定になっています。 出力したくない項目がある場合は、出力する項目リストで、その項目をクリックして、[<]をクリックすると、出力しない項目リストに移動されます。 出力したくない項目リストに出力したい項目がある場合は、その項目をクリックして、[>]をクリックすると、出力する項目に移動されます。 出力する項目リストにあるものは項目順を変更できます。移動したい項目をクリックして、[▲]/[▼]で移動できます。
保存フォルダ	出力先フォルダになります。[参照]ボタンをクリックして、フォルダを指定してください。 ※必ず書き込み権限があるフォルダを指定してください。
ファイル形式	テキストファイルか Excel ファイルかを指定します。
csv 設定	拡張子、区切文字、囲み文字を選択します。 区切文字とは、項目間を区切る文字です。通常、csv ファイルでしたらカンマが使用されます。 囲み文字とは、各項目の両端に付加する文字です。
xls / xlsx / xlsm 設定	Excel ファイルに出力する際、シート(Sheet)を分けるか、ファイル(Book)を分けるかを選択します。

※設定内容は[戻る]をクリックした際に確定されます。設定内容がどのように反映されるか、必ず運用前に受信テストを行って下さい。

※Excel ファイルは、そのファイル形式により件数制限があります。「保存方法」に「追記」を設定している場合、件数制限を超えないようにご注意ください。制限を超えるとファイル出力に失敗します。

5.PC 側操作

「NC1505BSS 受信アプリ」は次のことができます。これらの操作を行う前に、かならず「NC1505BSS 受信アプリ」の設定を行っておいて下さい。

HT で収集されたデータを受信し、PC 上にテキストファイルか Excel ファイルで出力します。

HT で設定された「システム設定」情報を、ファイルとして受信して保存できます。

保存された「システム設定」情報のファイルを HT へ送信できます。

弊社から提供する HT の最新プログラムを、HT へ送信できます。

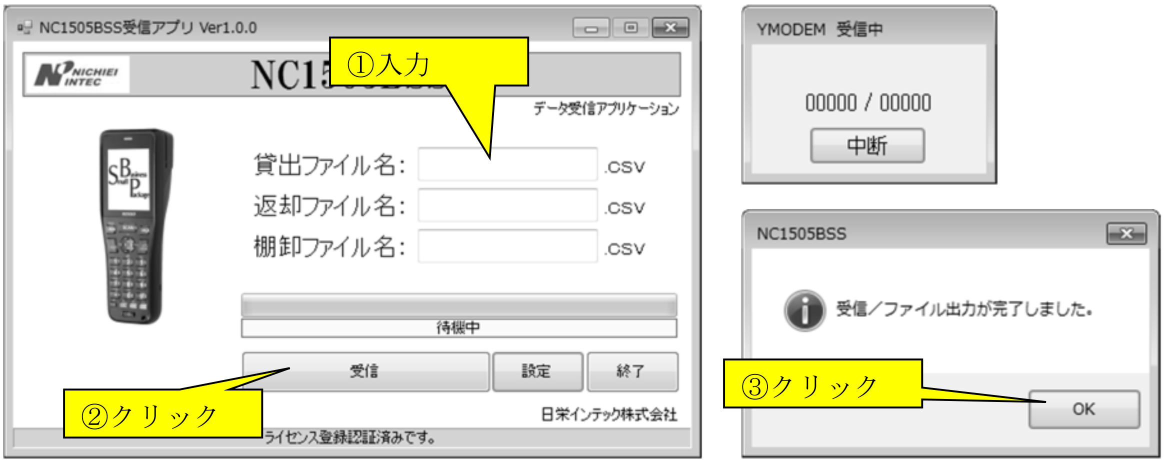
5-1.受信

HT から収集されたデータを受信します。

(1) ファイル名（Excel の場合はシート名も）入力（①）してください。この入力値は保存されますので、次回も同じファイルであれば、入力は1回限りです。

(2) [受信]をクリック（②）すると、受信が開始され、「YMODEM 受信中」という画面で進捗が表示されます。受信が完了すると、次に受信ファイルを加工して、指定されたファイルへ出力を行います。その進捗は[受信]ボタンの上のプログレスバーで確認できます。

(3) 「ファイル出力が完了しました。」という画面が表示されたら、処理は完了です。[OK]をクリック（③）してください。



※補足/注意点※

受信時は、出力先のファイルは触らないで下さい。他のアプリケーションによってオープンされていると、受信後のファイル出力が失敗します。保存フォルダにファイルが作成できるか否か、事前にご確認ください。書き込み権限がないと、受信後のファイル出力が失敗します。

「受信」→「ファイル出力」という流れで処理が行なわれますが、「受信」が成功した段階で HT 側では送信済みデータは削除されます（削除しない設定も HT 側でできます）。上記などの原因により、「受信」が成功した後に「ファイル出力」が失敗した場合、データが失われてしまわないように、本プログラムは次のように振る舞います。

前回、「受信」が成功し、かつ「ファイル出力」が失敗している場合に[受信]ボタンがクリックされると、「前回受信分がファイル出力に失敗しています。前回分のファイル出力を行いますか？」というアラームが表示されます。ここで[はい]をクリックすると、前回受信したファイルをファイル出力します。[いいえ]をクリックすると、新たなデータを受信します（この場合、前回分のデータは失われますので十分ご注意ください）。

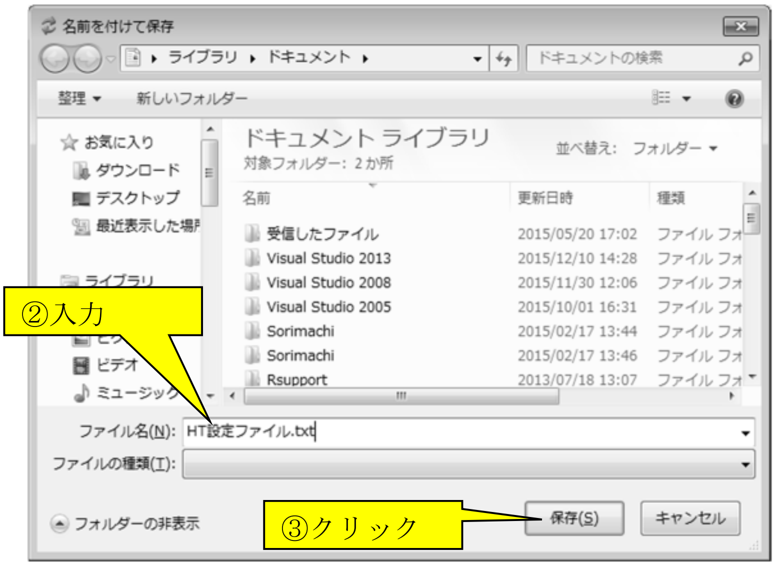
5-2.HT 設定受信

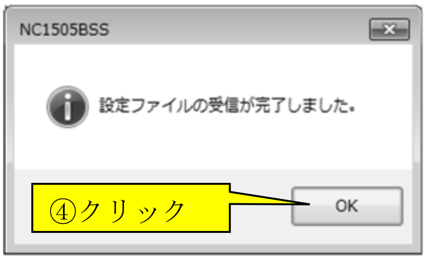
HT 側プログラムの「システム設定」で設定された情報をファイルとして PC 側に保管することができます。
保管した情報は、HT で「システム設定」を誤って変更してしまった場合のバックアップにもなります。
また、複数の HT で運用する場合、1台で設定した「システム設定」の内容を、他の HT にも反映させることができます。

(1) 設定画面で、[HT 設定受信]をクリック(①)します。

(2) 「名前を付けて保存」ダイアログ画面が表示されますので、フォルダを選択して、ファイル名を入力(②)して、[保存]をクリック(③)してください。受信が開始され、「YMODEM 受信中」という画面で進捗が表示されます。

(3) 「設定ファイルの受信が完了しました。」という画面が表示されたら、処理は完了です。[OK]をクリック(④)してください。





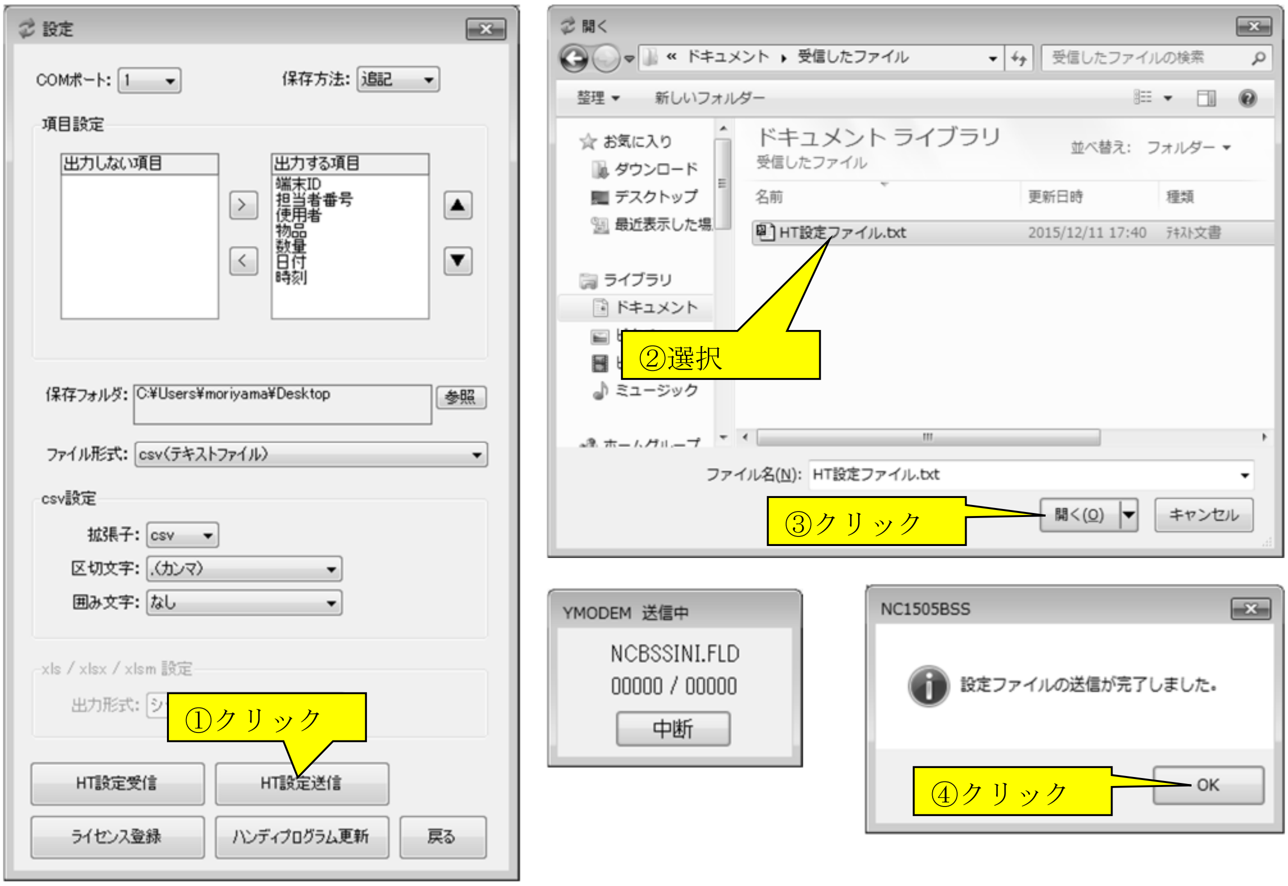
5-3.HT 設定送信

HT 設定受信にて受信し保存した「システム設定」情報ファイルを、HT へ送信します。送信先 HT の「システム設定」情報が更新されます。

(1) 設定画面で、[HT 設定送信]をクリック(①)します。

(2) 「開く」ダイアログ画面が表示されますので、「システム設定」情報ファイルを選択(②)して、[開く]をクリック(③)してください。送信が開始され、「YMODEM 送信中」という画面で進捗が表示されます。

(3) 「設定ファイルの送信が完了しました。」という画面が表示されたら、処理は完了です。[OK]をクリック(④)してください。



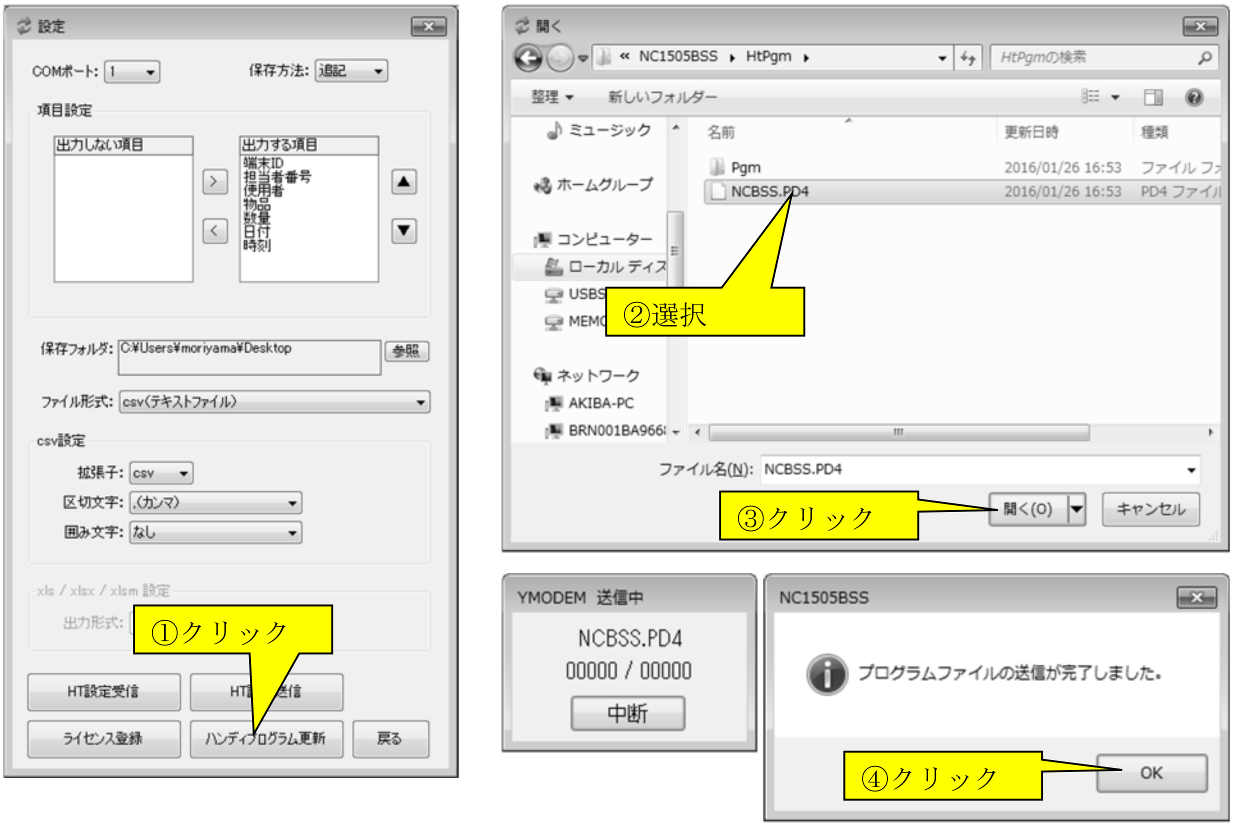
5-4.ハンディプログラム更新

HT 側プログラムに問題がある場合、弊社から最新の HT プログラムを提供させていただく可能性があります。本処理は、その場合に HT へプログラムを送信する機能です。

(1) 設定画面で、[ハンディプログラム更新]をクリック(①)します。

(2) 「開く」ダイアログ画面が表示されますので、HT プログラムファイルを選択(②)して、[開く]をクリック(③)してください。送信が開始され、「YMODEM 送信中」という画面で進捗が表示されます。

(3) 「プログラムファイルの送信が完了しました。」という画面が表示されたら、処理は完了です。[OK]をクリック(④)してください。



◆HT 側のプログラム受信方法◆

(1) HT の電源を OFF にしてください。

(2) [SF]と[1]を押したまま、電源ボタンを押します。「SYSTEM MENU」が表示されます。※表示されない場合、一旦電源を切って、やり直して下さい。

(3) [2]を押します。[2:DOWNLOAD]が選択状態になります。

(4) [ENT]を押します。[DOWNLOAD]が表示されます。

(5) [1:FILE]が選択されていますので、そのまま[ENT]を押します。[DOWNLOAD FILE]と[** Waiting **]が表示されます。この状態で CU に置いて、PC 側で上記の操作を行って下さい。
※[Communication error]が表示された場合、[ENT]を押すと、再度受信待ち状態となります。

(6) プログラム受信が完了すると、「** Completed **」と表示されますので、そのまま電源を切って下さい。

(7) 再度、電源を入れると、新しいプログラムが実行されます。

※注意※

上記で記載した「SYSTEM MENU」は、様々な設定の変更が可能な画面であるため、上記で記した操作以外は絶対に行なわないでください。HT が正しく動作しなくなる可能性があります。

6.HT 側操作

6-1.基本操作

ここでは、HT の基本的な操作や振る舞いについてご説明します。

電源を入れたり、切ったりするには本体下部にある、[⏻]キーを押して下さい。

電源を入れた状態で一定時間放置すると、自動的に電源が切れます(時間は[システム設定]-[自動電源 OFF]にて設定が行えます)。

電源が切れた後、再度電源を入れると、前回電源が切れた画面から処理が再開されます。

[M1]キーを長押し(1 秒間押し続ける)すると、[システム設定]にて行えない以下の設定が行えます。再度、[M1]を長押しすると元の画面に戻ります。

- 「ブザー音量」･･･[F5]/[F6]キーで「ブザー音量」を選択状態にし、[F7]/[F8]で音量を調節します。
- 「バイブレータ」･･･[F5]/[F6]キーで「バイブレータ」を選択状態にし、[F7]/[F8]でバイブレータの ON/OFF を設定します(バイブレータの設定は[システム設定]-[音(バイブ)]でも行えます)。
- 「明るさ(通常)」･･･[F5]/[F6]キーで「明るさ(通常)」を選択状態にし、[F7]/[F8]で通常時の画面の明るさを設定できます。
- 「明るさ(省電力)」･･･[F5]/[F6]キーで「明るさ(省電力)」を選択状態にし、[F7]/[F8]で省電力時の画面の明るさを設定できます。
- 「省電力」･･･[F5]/[F6]キーで「省電力」を選択状態にし、[F7]/[F8]で「明るさ(通常)」から「明るさ(省電力)」になるまでの時間を設定できます。

[BS/C]キーは、押してすぐ離すと[BS]キー(入力中の文字を一文字戻る)、長押し(1 秒間押し続ける)すると[C]キー(中止/入力中の文字をクリアー)として機能します。

バーコードを読み取るには、[SCAN]キーを押したまま読み取ります。何か読み取るか、5 秒間押し続けると読み取り光が消えるので、再度読み取りを行う場合は、一旦、[SCAN]キーを離してから、再度押して下さい。

各メニューでは、[F5]/[F6]で項目を移動するか、行先頭の番号をテンキーで押して選択状態とした後、[ENT]を押すと、その処理が開始されます。

保存件数は、全ての処理の合計で最大 4 万件です。

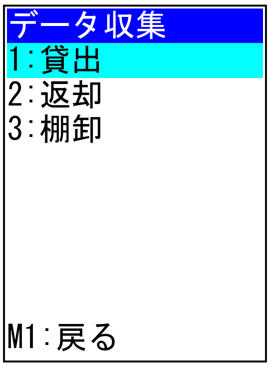
6-2.メインメニュー

最初に電源を入れた時に表示される画面です。各処理を分岐します。

NC1505BSS Ver1.0 1:データ収集 2:データ確認 3:データ送信 4:担当者設定 5:データ初期化 6:システム設定 7:設定送受信	(1) [1]～[7]キーを押すか、[F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、各処理へ進みます。

6-3.データ収集

本システムの主処理となるデータ収集を行う画面です。本システムでは、貸出・返却・棚卸の 3 つの区分で収集が行えます。

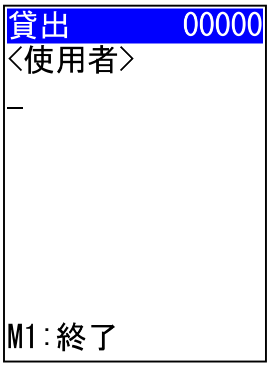


■処理選択画面■

(1) [1]～[3]キーを押すか、[F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、各処理を開始します。

(2) [M1]キーを押すと、メインメニューへ戻ります。

※ここでは貸出を例に記載しますが、返却・棚卸の場合にも同様の動作となります。



■使用者読み取り画面■

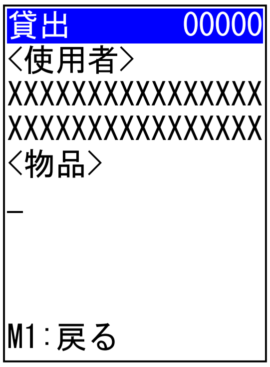
(1) 画面右上には、貸出結果の保存件数が表示されます。

(2) 使用者を入力して[ENT]を押すか、[SCAN]キーを押下して、使用者バーコードを読み取って下さい。入力が正常に行なわれると、物品読み取り画面へ進みます。

(3) [M1]キーを押すと、処理選択画面へ戻ります。

※読み取るバーコードは、[システム設定]-[バーコード]-[使用者]にて事前に設定して下さい。

※[システム設定]-[収集]-[使用者有無]が「なし」に設定されている場合は、この画面はスキップして、物品読み取り画面へ進みます。

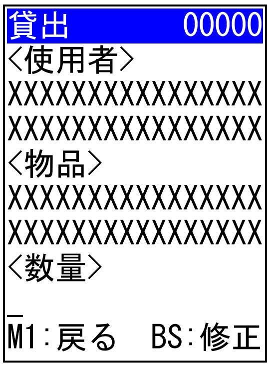


■物品読み取り画面■

(1) 物品を入力して[ENT]を押すか、[SCAN]キーを押下して、物品バーコードを読み取って下さい。入力が正常に行なわれると、数量読み取り画面へ進みます。

(2) [M1]キーを押すと、使用者読み取り画面へ戻ります。

※読み取るバーコードは、[システム設定]-[バーコード]-[物品]にて事前に設定して下さい。



■数量読み取り画面■

(1) 数量を入力して[ENT]を押して下さい。入力が正常に行なわれると、貸出データを登録し、使用者（[システム設定]-[収集]-[使用者：物品]が「1:1」）または物品（[システム設定]-[収集]-[使用者：物品]が「1:N」）読み取り画面へ戻ります。

(2) [M1]キーを押すと、物品読み取り画面へ戻ります。

※[システム設定]-[収集]-[数量]が「1 に固定」に設定されている場合は、数量 1 となり、数量入力はできません。

6-4.データ確認

データ収集を行い、保存されたデータを確認する画面です。データの削除も可能です。

データ確認
1:貸出
2:返却
3:棚卸
M1:戻る

■処理選択画面■

(1) [1]～[3]キーを押すか、[F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、各処理を開始します。
(2) [M1]キーを押すと、メインメニューへ戻ります。

※ここでは貸出を例に記載しますが、返却・棚卸の場合にも同様の動作となります。

貸出 00010/00010
<使用者>
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
<物品>
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
<数量>
XXXXXXXXXXXXXXXX
M1:終了 F4:削除

■データ確認画面■

(1) 画面右上には、収集結果の保存位置と件数が表示されます。
(2) [F6]または[F8]キーを押すと、次のデータを表示します。
(3) [F5]または[F7]キーを押すと、前のデータを表示します。
(4) 削除したいデータを表示した状態で、[F4]キーを押すとデータ削除画面に進みます。
(5) [M1]キーを押すと、処理を終了してメインメニューへ戻ります。

貸出 00010/00010
<使用者>
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
<物品>
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
削除しますか？
M1:戻る F1:了解

■データ削除画面■

(1) [F1]キーを押すと、表示データを削除してデータ確認画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずにデータ確認画面へ戻ります。

6-5.データ送信

データ収集を行い、保存されたデータを PC へ送信する画面です。

画面	説明
送信 送信しますか？ M1:終了 ENT:送信	■データ送信画面■ (1) [ENT]キーを押すと、クレードル設置指示画面を表示します。 (2) [M1]キーを押すと、処理を終了してメインメニューへ戻ります。
送信 クレードルに設置してください。 C:中止	■クレードル設置指示画面■ (1) CU（クレードル）に置いて、PC から[受信]を開始すると通信が行なわれます。送信が完了すると、送信完了画面が表示されます。異常終了するとエラー画面が表示されます。 (2) [C]キーを長押しすると、処理を中止してエラー画面を表示します。
送信 送信正常終了しました。 M1:終了	■送信完了画面■ (1) [M1]キーを押すと、メインメニューへ戻ります。 ※[システム設定]-[送信後データ]にて、「消去」が設定されていると、保存データが削除されます。
送信 送信異常終了しました。 ERL:0x00000 ERR:0x00000 F4:確認	■送信完了画面■ (1) [F4]キーを押すと、メインメニューへ戻ります。 ※[システム設定]-[送信後データ]にて、「消去」が設定されていても、保存データは削除されません。

6-6.担当者設定

担当者コードを設定します。この情報は収集データの各レコードに保存されます。

担当者設定
現在の担当者
[XXXXXXXXXXXXX]

新しい担当者
[█]

M1:戻る ENT:確定

(1) 3 行目には現在設定されている値が表示されます。
(2) 手入力の場合は、テンキーを使って入力してください（最大 13 桁)。文字や記号を入力する場合は、[SF]キーを押すと数字入力と英字入力が切り替わります。
(3) バーコードを使用する場合は、[SCAN]キーを押したまま読み取って下さい。13 桁より大きい場合は、最初の 13 桁だけが有効です。
(4) [ENT]キーを押すと、入力／読み取られた値で設定を登録し、メインメニューへ戻ります。
(5) [M1]キーを押すと、何もせずに、メインメニューへ戻ります。

※読み取るバーコードは、[システム設定]-[バーコード]-[担当者]にて事前に設定して下さい。

6-7.データ初期化

不要となったデータ、または送信済みのデータを削除する機能です。未送信のデータも削除できますので、十分ご注意下さい。

データ初期化
データを初期化しますか？

M1:終了 F4:実行

■初期化確認画面■
(1) [F4]キーを押すと、保存されているデータを削除して、初期化結果画面へ進みます。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずに、メインメニューへ戻ります。

データ初期化
データを初期化しました。

M1:終了

■初期化結果画面■
(1) [M1]キーを押すと、メインメニューへ戻ります。

6-8.システム設定

本システム全体の設定を行います。システム設定メニューでは、各設定を分岐します。

システム設定
1:収集
2:データ保存
3:送信後データ
4:バーコード
5:端末 ID
6:日時
7:自動電源 OFF
8:音(バイブ)
M1:終了　C:初期化

(1)　[C]キーを長押しするか、[1]、[3]～[8]キーを押すか[F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、各処理へ進みます。

※NC1505BSS では「2:データ保存」設定は使用しません。

6-8-1.収集設定

収集設定
1:使用者有無
2:使用者 : 物品
3:数量

M1:終了

(1) [1]～[3]キーを押すか[F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、各処理へ進みます。
(2) [M1]キーを押すと、メインメニューへ戻ります。

6-8-1-1.使用者有無

データ収集の際に使用者を収集するか否かを設定します。

使用者有無
あり
なし

M1:戻る ENT:確定

(1) [F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、収集設定画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずに収集設定画面へ戻ります。

6-8-1-2.使用者:物品

収集方法を設定します。

例1)「1:1」に設定された場合、使用者→物品→数量→使用者→物品→数量→使用者→…
という流れで収集します。一人の使用者に一種類の商品があるような場合はこちらとなります。

例2)「1:N」に設定された場合、使用者→物品→数量→物品→数量→物品→…
という流れで収集します。一つの使用者に複数種類の商品があるような場合はこちらとなります。収集データには同じ使用者がセットされます。

使用者 : 物品
1:1
1:N

M1:戻る ENT:確定

(1) [F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、収集設定画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずに収集設定画面へ戻ります。

6-8-1-3.数量

データ収集の際に数量を収集するか否かを設定します。

「1 に固定」に設定すると、物品入力時点で、数量 1 でデータが登録されるようになります。

数量 テンキー入力 1 に固定 M1:戻る ENT:確定	(1) [F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、収集設定画面へ戻ります。 (2) [M1]キーを押すと、何もせずに収集設定画面へ戻ります。

6-8-2.送信後データ設定

データ送信後にデータを消去するか否かを設定します。

送信後データ設定 消去 保存 M1:戻る ENT:確定	(1) [F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、システム設定画面へ戻ります。 (2) [M1]キーを押すと、何もせずにシステム設定画面へ戻ります。

6-8-3.バーコード設定

使用者、物品、担当者で、それぞれの読み取り対象バーコードを設定します。

バーコード設定 1:使用者 2:物品 3:担当者 M1:終了	(1) [1]～[3]キーを押すか[F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、各バーコードの設定へ進みます。 (2) [M1]キーを押すと、システム設定画面へ戻ります。

6-8-3-1.バーコード種一覧

設定を行うバーコード種を選択します。

※ここでは、「使用者」を例にしていますが、その他の場合も操作は同様です。

使用者 *JAN13,UPC-A *JAN8 *UPC-E *ITF *NW-7 *Code39 *Code93 *Code128,GS1-128 M1:終了 ENT:選択	使用者 *UPC-E *ITF *NW-7 *Code39 *Code93 *Code128,GS1-128 *STF *GS1-Databar M1:終了 ENT:選択	(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。 (2) そのバーコード種が読み取り対象となっている場合、先頭に「*」文字が表示されます。 (3) [ENT]キーを押すと、選択行の設定画面へ進みます。 (4) [M1]キーを押すと、バーコード設定画面へ戻ります。

6-8-3-2.JAN13,UPC-A

JAN13,UPC-A 読み取り する しない 後ろ1文字除去 する しない UPC-A 先頭0付加 する しない M1:戻る ENT:確定	(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。 (2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。 (3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。 (4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。 「後ろ1文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。 「UPC-A 先頭0付加」・・・UPC-A の場合、先頭に"0"を付加します。

6-8-3-3.JAN8

JAN8
読み取り
する しない
後ろ１文字除去
する しない
M1:戻る ENT:確定

(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

「後ろ１文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。

6-8-3-4.UPC-E

UPC-E
読み取り
する しない
後ろ１文字除去
する しない
UPC-E 先頭０付加
する しない
M1:戻る ENT:確定

(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

「後ろ１文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。
「UPC-E 先頭０付加」・・・先頭に"0"を付加します。

6-8-3-5.ITF (Interleaved Two of Five)

ITF
読み取り
する しない
後ろ１文字除去
する しない
CD 検証(MOD-10)
する しない
M1:戻る ENT:確定

(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

「後ろ１文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。
「CD 検証(MOD-10)」・・・モジュラス 10 でチェックデジットをチェックします。チェックデジットが間違っている場合、読み取れません。

6-8-3-6.NW-7 (CODABAR)

(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

「後ろ1文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。
「CD検証(MOD-16)」・・・モジュラス16でチェックデジットをチェックします。チェックデジットが間違っている場合、読み取れません。
「Start,Stop出力」・・・スタート・ストップ文字を大文字か小文字で出力、または出力しません。

6-8-3-7.Code39

(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

「後ろ1文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。
「CD検証(MOD-16)」・・・モジュラス16でチェックデジットをチェックします。チェックデジットが間違っている場合、読み取れません。
「Start,Stop出力」・・・スタート・ストップ文字を大文字か小文字で出力、または出力しません。

6-8-3-8.Code93

(1) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(2) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(3) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

6-8-3-9.Code128,GS1-128

Code128, GS1-128
読み取り
する しない

M1:戻る ENT:確定

(1) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(2) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(3) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

6-8-3-10.STF (Standard Two of Five)

STF
読み取り
する しない
後ろ 1 文字除去
する しない
CD 検証(MOD-10)
する しない

M1:戻る ENT:確定

(1) 選択は黄色い行で表示されます。選択は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(2) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(3) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

「後ろ 1 文字除去」・・・チェックデジット部分を取り除きます。
「CD 検証(MOD-10)」・・・モジュラス 10 でチェックデジットをチェックします。チェックデジットが間違っている場合、読み取れません。

6-8-3-11.GS1-Databar (RSS)

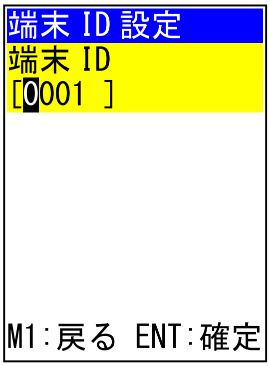
GS1-Databar
読み取り
する しない

M1:戻る ENT:確定

(1) [F7]/[F8]キーで設定を切り替えます。
(2) [ENT]キーを押すと、設定を保存して、一覧画面へ戻ります。
(3) [M1]キーを押すと、何もせずに、一覧画面へ戻ります。

6-8-4.端末 ID 設定

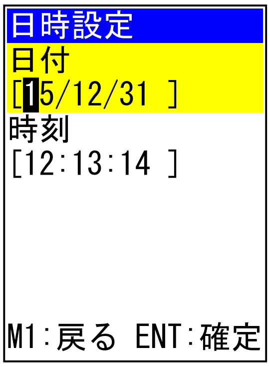
端末 ID を設定します。この情報は収集データの各レコードに保存されます。



(1) テンキーで値を入力し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、システム設定画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずにシステム設定画面へ戻ります。

6-8-5.日時設定

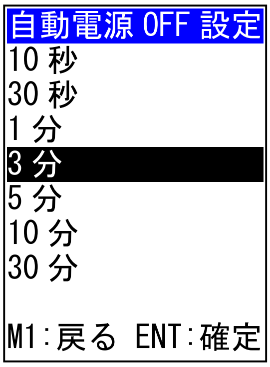
システム日時を設定します。この情報は収集データの各レコードに保存されます。



(1) 値はテンキーで入力します。
(2) 入力対象は黄色い行で表示されます。入力対象は、[F5]/[F6]キーで移動します。
(3) 最後に[ENT]キーを押すと、設定を保存して、システム設定画面へ戻ります。
(4) [M1]キーを押すと、何もせずにシステム設定画面へ戻ります。

6-8-6.自動電源 OFF 設定

操作せずに放置した場合に、電源が自動的に切れるまでの時間を設定します。



(1) [F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、システム設定画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずにシステム設定画面へ戻ります。

6-8-7.音(バイブ)設定

音やバイブレータの設定を行います。

音(バイブ)設定
通常設定
音ありバイブあり
音ありバイブなし
音なしバイブあり
音なしバイブなし

通常設定は音あり
エラー時バイブ
M1:戻る ENT:確定

(1) [F5]/[F6]キーで行を選択し、[ENT]キーを押すと、設定を保存して、システム設定画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずにシステム設定画面へ戻ります。

※音量の設定については、「6-1.基本操作」の「ブザー音量」を参照してください。

6-8-8.設定初期化

すべてのシステム設定を、購入時状態に戻します。

設定初期化
設定を初期化します か?
収集データは削除されません。

M1:終了 F4:実行

(1) [F4]キーを押すと、設定を初期化して、システム設定画面へ戻ります。
(2) [M1]キーを押すと、何もせずにシステム設定画面へ戻ります。

7.販売者情報

システムのトラブルや不具合については、下記メールアドレスまで、ご連絡ください。
本システムのアップデートなどの最新情報は下記 URL に記載しておりますので、ご確認ください。

日栄インテック株式会社

開発事業部　Auto-ID グループ

http://www.barcode.ne.jp/

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5
日栄インテック御徒町第 1 ビル
TEL：03-5816-7141　　FAX：03-5816-7140
メール：info@barcode.ne.jp